

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、全般的に良好な米経済指標を受け、グローバル経済に対する過度に悲観的な見方も後退しつつあることから、レアルを含む中南米通貨も買いが優勢となっており、レアル相場は一時3.88台半ばまでレアル高が進行した。ボブスパ指数も前日比1.8%高と、3営業日続伸。昨日公表された米2月ADP民間雇用者数は、21.4万人増と、市場予想の19万人増を上回った。また、FRBが公表した地区連銀報告(ページブック)では、12地区のうち7地区が、景気は「緩やかに」「緩慢なペースで」「若干」拡大したと説明するなど、将来の見通しについて総じて楽観的な記載が目立った。原油価格も底値から反発傾向にあり(ベネズエラが「次回OPECで増産凍結が協議される」、とコメントしたことも影響)、投資家のリスク回避姿勢も徐々に緩和されている。

ブラジル中銀は、昨日開催されたCOPOM(金融政策委員会)において、予想通り政策金利(Selic)を現行の14.25%で据え置いた。決定は全会一致ではなく、6名が据え置きに賛成する一方、2名が50bpsの利上げを支持した。据え置きは5会合連続。会合後に公表された声明文は、前回会合とほぼ同様の内容となり、「マクロ経済シナリオ、物価見通し、足許のリスクバランス、そして国内及び主には国外における不確実性を考慮した」とされた。インフレ率は加速しているものの、引き続き景気後退への配慮が窺える。

マーケットデータ

Indicator		Unit	3月1日	3月2日	前日比	2月2日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,9341	3,8941	-0,0400	3,9902	-0,0961
	対円	JPY	29,03	29,15	+0,12	30,07	-0,92
	対ユーロ	BRL	4,2755	4,2319	-0,0436	4,3560	-0,1241
円	対ドル	JPY	114,01	113,48	-0,5300	119,97	-6,4900
	対ユーロ	JPY	123,90	123,33	-0,57	131,00	-7,67
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	44.122	44.893	+771	38.596	+6.297
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	450,2	448,0	-2,2	484,2	-36,2
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,85	15,61	-0,24	16,24	-0,63
DI Future Apr17 (金利先物)		%	14,05	14,09	+0,04	14,62	-0,53
3 Months US Dollar Libor		%	0,632	0,632	+0,000	0,619	+0,013
CRB Index (国際商品指数)		Index	163,9	164,6	+0,7	160,2	+4,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

